

人の間違いを評価する科学 —人間信頼性評価とは—

新刊のご紹介

これまで、人類の歴史には様々な事故がありました。

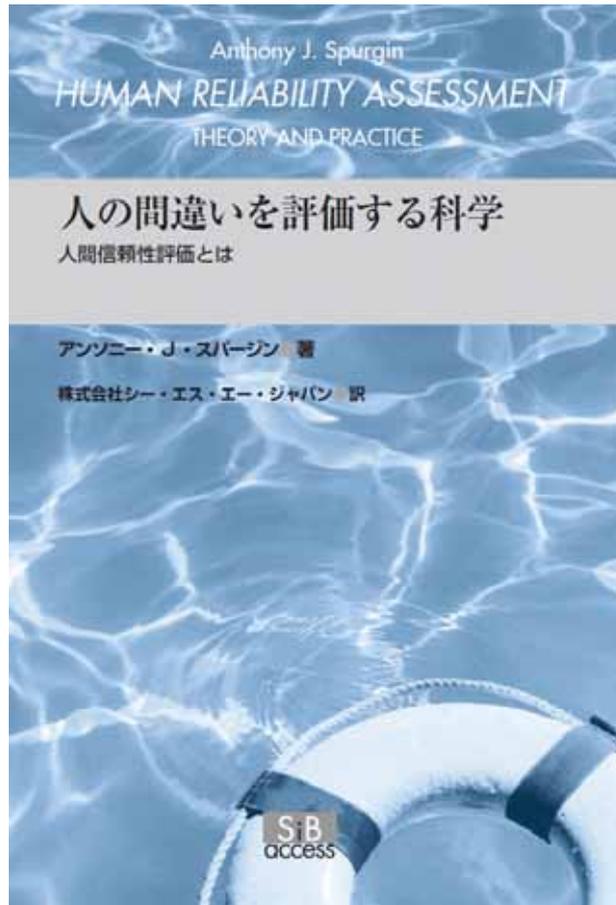
日本では、福島第一原子力発電所の事故のあとは特に、

事故が及ぼす影響について国民的な議論が巻き起こっています。

株式会社シー・エス・エー・ジャパンでは、事故前から社内的な教育のため翻訳していた本書がこれからの何らかのヒントになるかもしれないと考え、日本語版の出版をすることに決めました。

本書が工学システムを取り巻くリスクに対する皆様の考えを深める一助となれば幸いです。

本書は、リスク評価と人間信頼性評価に多大なる寄与をされてきたアンソニー・スパージン氏が長年の深い経験を凝縮して筆を起こされた珠玉の一冊です。冒頭では「盲人たちと象」の話を紹介し、著者一流のユーモアをもって自分たち工学者を盲人たちに例えています。本書は、単なる技術図書ではありません。いたるところに著者の哲学、実際に起こりうる現象をあるがままを捉えようとする謙虚な態度、そして真実を追究するためには議論を回避しない挑戦的なスタンスが散りばめられています。



本書は、リスク評価を担当している実務者にとって指針となるのはもちろん、工学とはどうあるべきかをこれから考えていく若い人々、そして事故のリスクとは何なのか知ろうとするあらゆる人々にお薦めできると考えています。

本書に興味をもたれた方は、book@csaj.co.jp へメールをお送りください。
株式会社シー・エス・エー・ジャパン 〒105-0012 東京都港区芝大門 1-3-9 芝大門第一ビル tel:03-5776-1838